

「もてたい」「注目されたい」
が選択基準の高校時代の部活

矢嶋 先生は、高校や大学時代ど
んな学生生活を過ごされたんです
か。

青木 高校時代にはボート部に属
していました。高校のボート部は
めずらしいですよ。

クラブに勧誘された決め台詞
は、「君もイギリス貴族にならない
か」でしたね(笑)ケンブリッ
ジ大学とかの例を出して、高級な
クラブだと説明されてその気にな
りました(笑)。琵琶湖の瀬田川
で立命館大学の漕艇部の艇庫を間
借りして、指導を仰ぎながら練習
をしていました。また、「空手」
も高2まで続けていました。高校
からはバンドを組んで、大学に
入ってからすこしの間でしたが、

軽音楽部に所属していました。ちな
みに先輩と喧嘩して辞めました(笑)。
いずれにせよ、振り返ってみると、
全て「もてたい」「注目されたい」
という基準で活動を選んでたよう
な…(笑)基本「目立ちたがり屋の
ええかつこしい」ですんで。

大学生時代から大手塾の トップ講師だった

青木 空手の道場で、既に小学生
や中学生の指導経験があったので、
大学に入ってからには、難関に
超が付く中学校や高校を受験する
ための、日学園という有名塾で英
語と国語の講師をし始めました。
こここの塾は先生アンケートを取る

今年も京都大学の入試問題、予想的中！

代ゼミサテライン予備校

実力講師インタビュー

vol.1

青木 邦容 (あおき くにやす) 講師

大学在学中より関西大手の塾や中小の予備校で教え
始め、大学在学中に代々木ゼミナール史上最年少で講
師採用試験に合格。マスコミの内定も断り、大学卒業
と同時に、代々木ゼミナール講師になる。

現在、対面授業(代々木校、京都校など)の他に、代々
木ゼミナールのサテライン授業などさまざまな講座を
担当し、私立大・国公立大・医学部の受験生から幅広
い支持を得ている。全国の高校等からの講演依頼も多
く、つねに全国を飛び回っている。

担当講座

センター現代文/青木の関関同立大現代文
現代文研究ラボ【ADVANCEDレベル】
現代文研究ラボ【BASIC&STANDARD】
高3ハイレベル現代文/医系論文



のですが、ほぼ常に100点とい
う評価をいただけてました。

ちなみに今、大学受験生を教え
ていて痛切に感じるのは「基礎の
大切さ」です。この「基礎」を学
ばずに受験生をやっている生徒が

「異様に」多いんですよ。これが
かなり難関大学を目指す勉強をす
る際にネックになる。その点で、
小学生の時からいわゆる「塾」に
行くことは良いことだと思いま
す。そういう所は、いきなり難し
いことを教えるのではなく、「基
礎知識」をみっちりやるんですわ。
後は単なる丸暗記ではなくて答え
に到達するまでのプロセスをちや
んと考えさせる。そうやって勉強
に対する姿勢を身に付けさすん
です。そういう「勉強癖」が付いた
生徒さんは、後々やつぱり伸びが
違うんですよ。ちなみに灘とか行
く生徒は、別に難しいことばかり
やっているのではなくて本当に基
礎から応用まで、満遍なく勉強し
ているんです。決して彼らは基礎
を疎かにしないし、何よりも丸暗
記がばかっていることを良く知っ
ている(笑)必ず効率よく覚える
ために、知識の基礎に存在する「理
屈」を問うてくるんです。あと基
礎をちゃんと応用して難しいこと
につなげる術を身に付けます。い
や、生徒ながら立派でしたわ(笑)

関東人は、先生のギャグ についていけない？

矢嶋 先生の授業はとて面白い
ですね。私など、受けていたら、
笑いをこらえるのが大変です。先
生のギャグが面白くて、授業中

笑っている生徒がいます。周りの
生徒に迷惑になるので声を押し殺
して笑ってる。そういう生徒は教
室のうしろからみると、授業ブ
スのモニターの前で肩を震わせて
いるんです(笑)。

そういう生徒たちが、授業のあ
と、ライブで授業を受けている東
京の本部校の生徒たちのことを不
思議がっていました。「先生が面
白いこと言っているのに笑わな
い。関東の人たちには、先生の関
西ジョークのレベルが高すぎて理
解できないんじゃないか」って。

青木 それは違いますわ。「すべつ
てる」なんて失礼な(笑) あれば、
生徒の爆笑で僕の声がかき消され
てしまわないように、衛星講義(サ
テライン授業)の撮影スタッフが、
調整室でマイクいじって調整して
るんです。つまり、現場は大爆笑。
以前はね、笑い声も、ライブ授業
受けているような臨場感が出る
とかでそのまま流してたみたいなん
ですが、「先生の声が笑いたいなん
こえない」的な苦情がきたので、
現在のシステムになったわけ
です。

矢嶋 それを聞いて、(関東の生
徒たちの感性に対して)安心しま
した(笑)

「ライトセーバー」の謎

矢嶋 先生は、授業中に指示棒の
代わりに「ライトセーバー」を使っ
ておられますね。その理由はなん
ですか。

青木 あはは。あれは指示棒です
(笑)代ゼミの規則では、講師は講

ライトセーバー

映画「スター・ウォーズ」シリーズ中で、
ジェダイの騎士やシスの暗黒卿が用いる
架空の武器

青木邦容 主要著書紹介



基礎から学べる入試現代文
現代文が苦手な人、成績が伸び悩んでる人に最適！入試問題を題材に、基礎から読解の“method”を徹底解説。現代文で高得点をとる秘訣を伝授する！



選べる／書ける(真)現代文 [解答作成法大全]
現代文の得点が大きく伸びる驚異の[解答作成法]を一挙に公開。具体的な解法のコツを詳細に伝授、評論・随筆・小説の全分野に応用のきくテクニックが身につく。



青木の現代文 単語の王様
現代文の単語学習に革命！「わかってもらおう」ための工夫が盛りだくさん、従来の現代文用語集とは一線を画す、青木の「現単王」ついに登場。



青木の基礎現代文 Yah! Yah! Yah! (Part.1) (Part.2)
現代文を基礎からわかりやすく、おもしろく解説。具体的な読解力を養成する現代文読解の基礎入門書。



医療看護系入試 現代文が面白いほどとける本
「現代文」対策をこれから始める人のために、問題文の「読み方」と設問の「解き方」を、著者による「過激トーク」をまじえながら、楽しく、わかりやすく解説

大学を面白くするのはキミ次第



義に関係のないものを持ち込んではいけません。何しろあれは指示棒ですから、大いに関係があるということ(笑)

実際、自分の講義をV(ビデオのこと)で見直した時に、普通の指示棒では、どこを指しているのかわかりにくかったので、その時以来ずっとライトセーバー使ってます。しかしですね。最近の生徒さんは「スターウォーズ」を知らない罰当たりな子が多いので(笑)よく「先生、なんで工事現場の懐中電灯持ってるんですか？」と訳のわからんことを言われたりしますが(笑)

「好奇心」を持って、目の前に「ニンジン」をぶら下げる

矢嶋 先生から見て、勉強できる人に特徴はありますか。また、大学受験に対して「やる気」を出す方法について教えてください。

青木 まず、そうですね、勉強ができる子は、講師室で話している「オモロイ」ですわ。学問的なことだけではなくて、世の中の色々な疑問を僕にぶつけてくる。好奇心旺盛なんですわ。僕は医学部受験担当講師でもあるので、よく医系論文の講義で「色々なことに興味を持って」と言います。その手段として、毎日学校の帰りに10分、30分程度、本屋に寄り道して、手当たり次第「立ち読み」「つまみ読み」をしろ、と言います。もちろん気になる本、続きが読みたい、あるいはじつくり腰を落ち着けて読みたい本があれば購入しなさいとも言っていますが、そういう本に出会うためには、出会うための機会を積極的に求めねばなりません。誤解してもらっては困るが、「本を読んだら国語の成績が上がる」ということを言っているのではないということ。そんなのは都市伝説的な根拠の無い「噂」程度のデータメ指導法ですわ(笑)。

そもそも現代文や論文の課題文が「読めなくて困っている」のに、その原典をボンと渡しても読めるわけがないでしょ!? 読ますならちゃんと指導、教授、解説付で読ませないと。話を戻すと、僕が立ち読みしろって言っているのは、自らの「アンテナ」を増やすためです。このアンテナで色々な分野の知識を、効率よく吸収する。視野の狭窄や、現代っ子にありがちな「無気力」も、受験勉強の大敵です。とにかく世の中には色々な知識や意見、情報などが溢れていることをまず知ること。それらをまずは僅かずつでよいので自分の中にパッチワークのように紡いでいく。それが広がれば広がるほど、色々な文章なりテーマなりを理解し、また自分の意見や主張も作れるようになれるというわけです。またそういうプロセスの中で「大学でやりたいこと」を是非「自分の力」で見つけて欲しいと思います。心から興味を持ったこと、

じつくり向き合いたいことあるいは自分のものにしたことを早く見つけて欲しい。例えば、本屋に行つて車の雑誌を読む。乗りたい車に出会う。そしてそれを実現するために大学に合格して：アルバイトして：免許を取って：という風に自分のこれからの人生：と

いつて大げさなら大学生活を自由にイメージして欲しい。それがいわゆる目の前の「ニンジン」になつて受験勉強のモチベーションも上がる。ちゅうもんですわ。実際、僕が受験生の時にそうでした(笑)。見事(笑) 車も自力で買いました。

別にも物でなくても良いんですよ。旅行雑誌見て「海外に行つて、この目で、この世界遺産見てみたい」とか、あるいは「大学行つて、このテーマを研究して、この分野のエキスパートになりたい」とか

：パターンは色々あると思います。しかししつれにせよ、そういうアイデアが湧くには「世の中に

何かあるのか」をまず知ることから始めないと。だから本屋へGO!ですわ。

大学を面白くするのはキミ次第

青木 大学が面白くないという学生がいるね。そうじゃない、「キミ自身が面白くしていないや」、そう、言ってます。

例えば、大学の教授に授業中に気が付いた疑問を質問に行つたらいい。大学の先生は、いわゆる良い意味で「知識オタク」。いつも自分の知識を理解してくれる、あるいは共有してくれる「仲間」を探しているんです(笑)。アカバ系がそうであるように(笑)。だから質問したり、講義の内容に興味を持ったことを伝えたりすると、めっちゃ喜ばれます。だから大学に行つて、興味のある教科に出会ったら、たとえその先生の講義が「眠たい講義」でも(笑)



▲対談中の風景



▼サインも頂きました



どんな質問に行けば、参考文献から勉強の仕方まで懇切丁寧に教えてくれます。大学の先生はそういう学生を待っているんですわ。だから、最近の学生は「無気力」って愚痴る大学の先生が多いんです。とにかくまず自分で好きな勉強を好きなだけできる環境が揃っているんだから、それを利用しない手はないでしょ!?そういうところから学問的な楽しさ、自由さ是非経験して欲しいです。またどんだんと付き合いなさいとも指導します。少人数の仲間と、ちまちま戯れるのではなく、同級生はもちろんのこと、バイト先の人やクラブ・サークルの上下の人間など、可能な限り自分の行動範囲、生活範囲を拡大して、自分以外の「人間」というものをじっくり観察、経験し、またそこから様々なものを学んで欲しいと思ってます。高校までのスケールやイメージで行動するから大学は面白くなるんです。せっかくな大学に

入って、時間もお金もあるいは自分自身も、ある程度自由にできるんだから、それを最大限に活かして自分という人間を一枚も二皮も剥いて、洗練させていって欲しいし、またそのプロセスを楽しむべきだと思います。大学を生かすも殺すも結局、自分次第なんです。それを卒業生が遊びに来たら懇懇と論ずんです。

現代文の勉強でも大切なのは「基礎力」

矢嶋 現代文の学習で大切なことは何だと先生はお考えですか。
青木 文章は「文」でできてます。また文は「単語」でできてます。その点で文章を読むためには、それを構成する今言ったような諸要素を、しっかりと理解できていることが大前提となります。だからやはり、先ほども言ったけど、語彙力等の基本知識を身に付けることは必須なんですわ。そういう「知

識」を疎かにしたまま、ただ「正確に読めば必ず文章は読める」といった重畳表現的な台詞を信じて、ひたすら問題集を解いても、決して現代文は読めるようにはなりません。そもそも何をもって「正確に」と言っているのか? だいたいそういう質問をすると「論理的に読むんだ」という答えが返ってきます。先生ほど「論理的」じゃなかったり、あるいはそもそも「論理」を理解していない。本当は「問題作成者の意図」を考えながら読むことが大事なんですが、「次の文章を読んで後の間に答えなさい」と書いてあるでしょ!? あれ無視してない? 好きに読んで良いとは書いてないし(笑) つまり後に問題があるからそれに答えるために読めって言っているんだよ。だから傍線部や空欄があったら、なんでここに設問作ったんだらう? って考えながら読むのが大事。そこから解答の糸口や文章そのもののポイント、つまり「問題作成者」はこの文章の何を読ませたくて、この文章を選んだのか? ということが見えてくる。ちなみに百歩譲って「正確に文章が読めた」としましよ。その「正確さ」が設問作成者の視点と重なっていないければ、絶対に問題は解けないし(笑) 常日頃、僕はその「視点」の発見のし方を講義で教えています。普通の「読書」感覚で文章を読まないといけないと教えるのは、少なくとも僕は間違っていると思います。またちょっと特殊な読み方をすると、すぐ「テクニッ

クに走りやがって」と批判する人がいますが、殊に受験ではその批判はナンセンス(笑) 制限時間内で問題を処理しないといけない以上、何らかの効率化は必要です。そんなこともわからないのなら、受験に関わらない方が良いでしょう。そういう人ほど「本文を最後まで全部読まなければ、設問は解けない」とおっしゃる(笑) そもそも普通に読書している時に、全部その本を読まないで、部分部分が理解できないうちで「ここが重要か?」って自分で「正確に読書の時のように読め」と教えていながら、「本文を全部読んでから、設問を解け」というのは、それ自身が読書の時の感覚とは全然違う、特殊な読みでしょう(笑)? 矛盾してますよね。これから勉強する人に、一つ注意しておきましょう。スポーツでも何でもそうですが、最初は教えられたことを守ろうとするのは自然なことで邪魔くさいし、不自然なことに映るもんなんです。例えば、コーチからバッティングフォームが悪いと指摘されたとしても、そこでコーチの言うように自分のフォームを修正したら、今までの自分のフォームに慣れていて、分、バットが振りにくく感じるし、最初は全然、球を捉えられないかもしれない。でもそこでまた自分のフォームに戻したらどうなると思いますか? 絶対にその選手は打てるようにならないと思います。大事なのは、たとえ最初は辛くて窮屈であっても、教えられたことをきちんとこなす努力をし続ける

こと。それが自分にとって「自然」に感じられるようにまで、しっかりと続けることが大切です。もし納得できない部分があれば、それを自分の中に溜め込まず、コーチなり先生に聞いてみれば良い。そうして自分でも一つ一つ納得しながら、それを自分のものにしていくそのプロセスが大切だし、あらゆる意味で自分を成長させるもんなんです。「諦めは敗北である」予備校で挫折しかかっている人! 一人で悩んでいないで、塾や予備校の先生をよきコーチとして信じて、決して諦めずに努力を続けられ、その先にはひじょーに面白くて充実したキャンパスライフや人生が待っているよん(笑)

矢嶋 まだまだいろいろとお聞きしたいですが、時間が経ってしまいました。お忙しい中、ありがとうございました。



インタビューー
川西教室フェロー 矢嶋 逸美 (大阪大学文学部)